

年度 2007 学期 前期	曜日・校時 水・3	必修選択 選択	単位数 2
授業科目/(英語名)	生物の科学 (身近な微生物) Biological Sciences (Life with Microorganisms)		
対象年次 1・2年次	講義形態 講義	教室	
対象学生(クラス等) 全学部	科目分類 自然科学科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 担当教員: 竹下 哲史 / Eメールアドレス: juniper@nagasaki-u.ac.jp / 研究室: 共同研究交流センター産学連携部門 / オフィスアワー: juniper@nagasaki-u.ac.jp			
担当教員(オムニバス科目等)			
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 授業のねらい: 微生物は、様々な面で利用され役に立っている一方で、伝染病や食中毒、食品の腐敗などで人類を悩ましてきた。最も身近であるにもかかわらず、日常生活ではほとんど意識していない微生物と人間の多様なかかわりを理解し、知識を深める。  授業方法: 適宜資料を配布し、講義方式で行う。  授業到達目標: 微生物の存在が動物や植物の生活環境を支え、われわれ人間の生活とも密接に関係していることを正しく理解し、身近な微生物について自分の考えを導くことができるようにする。			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 授業内容(概要) 微生物の基礎を概説し、微生物がわれわれの生活と如何に深くかかわっている生物であるかについて、具体的な例を紹介しながら授業を進める。  第1回 (4月11日) Introduction 第2回 (4月18日) 微生物とは(その1) 第3回 (4月25日) 微生物とは(その2) 第4回 (5月 2日) 微生物とは(その3) 第5回 (5月 9日) 食品とのかかわり(その1) 第6回 (5月16日) 食品とのかかわり(その2) 第7回 (5月23日) 食品とのかかわり(その3) 第8回 (5月30日) 腐敗と保存 第9回 (6月 6日) 家庭環境とのかかわり 第10回 (6月13日) 家庭環境とのかかわり 第11回 (6月20日) からだとのかかわり 第12回 (6月27日) 抗菌 第13回 (7月 4日) エネルギーとのかかわり 第14回 (7月11日) 有用物質生産 第15回 (8月 1日) 定期試験			
キーワード			
教科書・教材・参考書	教科書は用いない。資料は適宜配布する。微生物に関する書物は多数出版されているので、必要な情報が記載してある書物を選んで参考とすること。		
成績評価の方法・基準等	定期試験 90%, 受講状況 10%		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ / 学習・教育目標			
備考(準備学習等)			